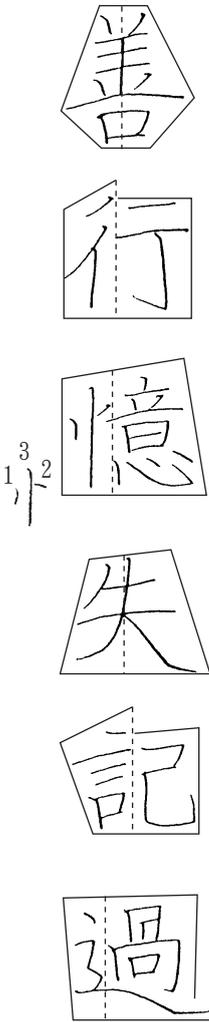


準初段から六段まで

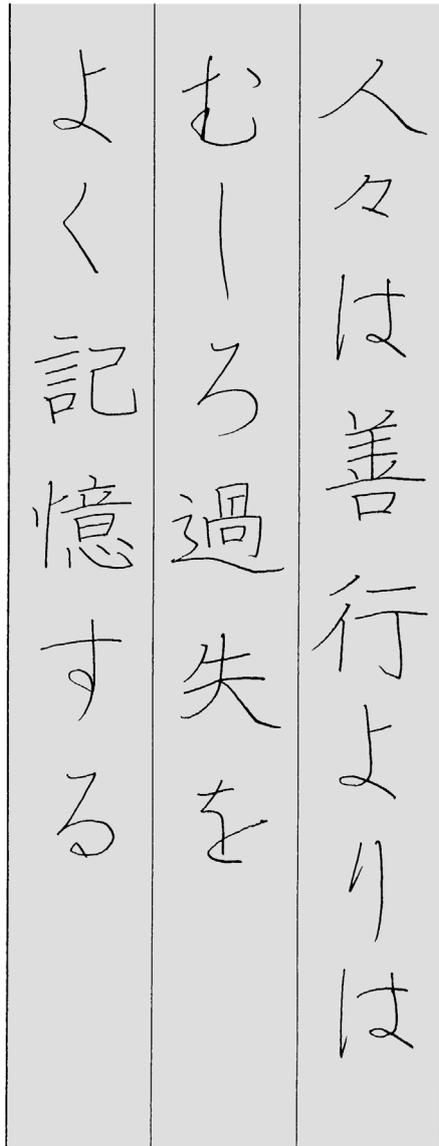
新入から1級まで

〔解説〕



◎書の学習は、手本をよく観察して、目習いすることが大切。その進歩は遅々として、急には目に見えないものではない。根気よく精進することこそ、上達の鍵と心得て下さい。

▶教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。

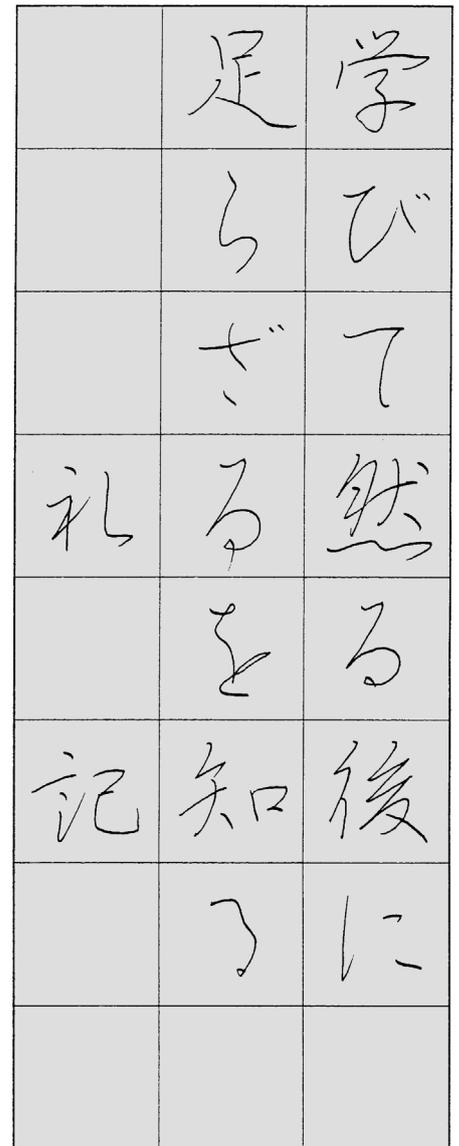


おか だ りゅう ほう 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼教範・書範||行書

▼師範||楷書

休 静 禅 師

破鏡再び照らさず

落花枝に帰らず

◆11月課題予告(行草または草書)

★人々は：(書体||楷書)
デモクリトス(前四〇頃〜前三七〇頃)
古代ギリシアの哲学者
長年かかって地道に築いてきた信頼も、一つの過失で失ってしまうことがあります。一度形成されたマイナスイメージを払拭するには、また大変な努力が必要となります。人に甘えずいつも慎重さをもった上で、積極的に行動したいものです。

★学びて：(書体||行書)

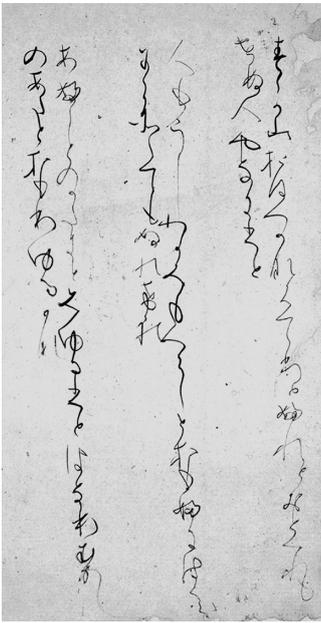
礼記・古代中国の経書
学記篇より
何も学んでない人は、自分が何を知らないかすら気づくことはありません。皆さんも、ペン字を習ってみて初めて、その奥深さに気づかれたことと思います。学問は、学べば学ぶほどに自分の知識の不十分さに気づかせてくれます。

◆11月課題予告(楷書)

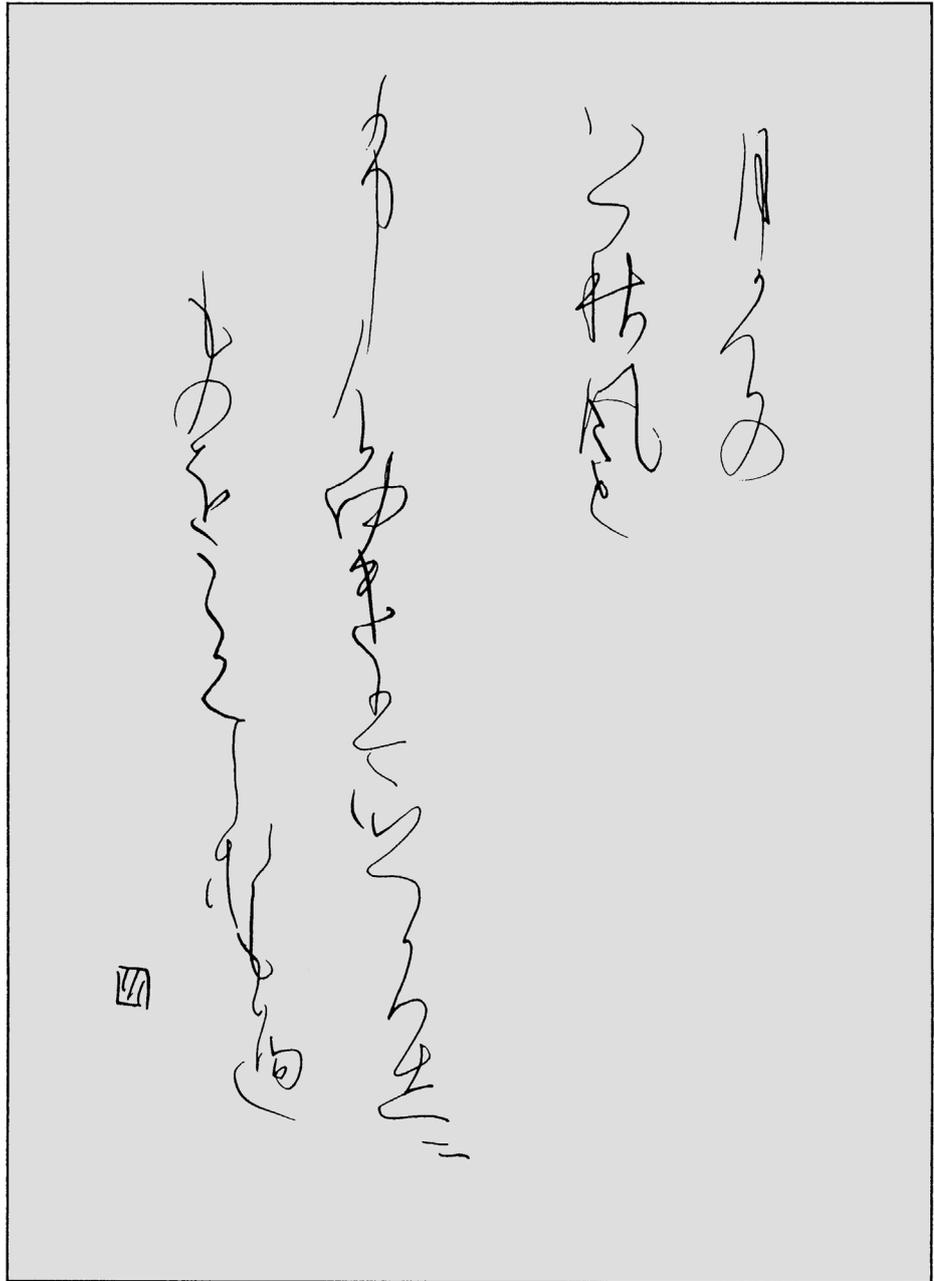
絶えざる
日照りが
砂漠をつくる

〔古筆参考〕

針切



春^可か山^於おほつ^保かな^可なくて^本ほど^婦ふれど^おとづれも
 世^世ぬ人^奈や^悲なに^びと
 人もうし^わが^可みも^つらし^とお^於も^婦ふ^奈には^はう^らく
 に^こそ^所ゝ^でも^ぬれ^けれ
 あ^婦ふ^多こと^のか^可た^支き^とみ^悲ゆる^ひとは^奈ほ^本む^かし
 の^あだ^多と^於お^本も^ほゆる^可かな



締切り 十月二十五日(必着)

築瀬舟香書

月影^可のは^八つ^布秋^介風^遣と^整ふ^けゆ^げば
 心^志つく^二し^三に^もの^をこ^そ思^へ

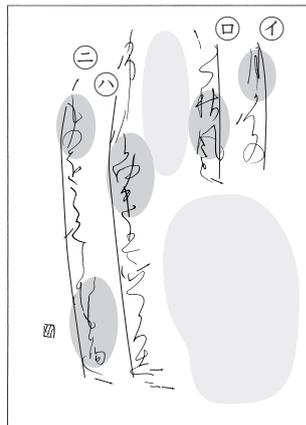
円融院御歌

〔歌意〕月の光が冴え、初秋の風がふくにつれて夜も更けてゆくと、心を苦しめて物思いに沈むよ。

〔出典〕新古今和歌集

(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ①と②、①と③、②と④、③と⑤、④と⑥、⑤と⑦、⑥と⑧、⑦と⑨、⑧と⑩、⑨と⑪、⑩と⑫、⑪と⑬、⑫と⑭、⑬と⑮、⑭と⑯、⑮と⑰、⑰と⑱、⑱と⑲、⑲と⑳、㉑と㉒、㉑と㉓、㉒と㉔、㉓と㉕、㉔と㉖、㉕と㉗、㉖と㉘、㉗と㉙、㉘と㉚、㉙と㉛、㉚と㉜、㉛と㉝、㉜と㉞、㉝と㉟、㉞と㊱、㉟と㊲、㊱と㊳、㊲と㊴、㊳と㊵、㊴と㊶、㊵と㊷、㊶と㊸、㊷と㊹、㊸と㊺、㊹と㊻、㊺と㊼、㊻と㊽、㊼と㊾、㊽と㊿、
- 墨の動き大切。
- の方向大切。
- 大きな間重要。

針切の連綿(三) (行の流れ)

針切の行の動きは右下に落ちる動きと、その動きを元に戻す動きが主流となつて行の流れが出来ています。行が長くなると変化に乏しくなる為、三文字目か四文字目で軌道修正の為、前述の様な事が行われているのです。

参考資料 同朋舎出版 針切

◆11月課題予告

さびしさに堪へたる人のまたもあれな庵ならべむ冬の山里

締切り 10月25日(必着)

今月の第三日曜日に、幼稚園にてお遊戯発表会があります。年少組は歌だけですが、パパはもう新しいビデオを購入して準備万端です。席は四人分予約したので是非とも孫の晴れ姿を見てやって下さい。

今月の第三日曜日に、幼稚園にてお遊戯発表会があります。年少組は歌だけですが、パパはもう新しいビデオを購入して準備万端です。席は四人分予約したので是非とも孫の晴れ姿を見てやって下さい。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

お か し ま け い せ ん
岡 嶋 桂 川 書

フランスの画家ミレー(Millet)は、
ノルマンジーの農家に生まれた。
岩手県一関市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 10月25日 (必着)

在
三
暎
命
吹
萬

命吹萬 在 三暎

準初段から師範まで

岡田龍芳臨

〔出典〕孔子廟堂碑（626～633）〔筆者〕虞世南（558～638）

〔読み〕在ざい三さんはけんめい暎すいぼん命し、吹すい万ばんは

新月照く 松間

新入から1級まで (行書)

澤静雨書

〔読み〕松間かがや新月照く

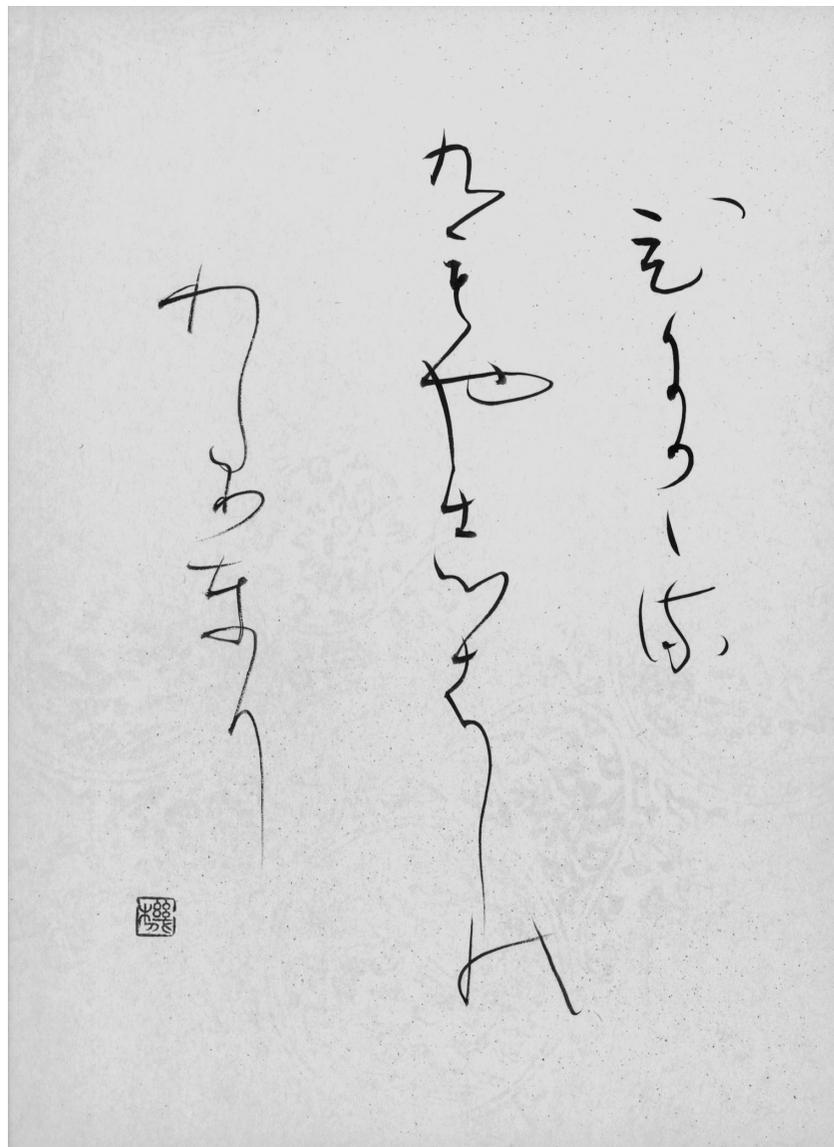
〔大意〕青々としている松の間に、三日月がきらきらかがやいている。

一般部毛筆かな課題

締切り 10月25日 (必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書

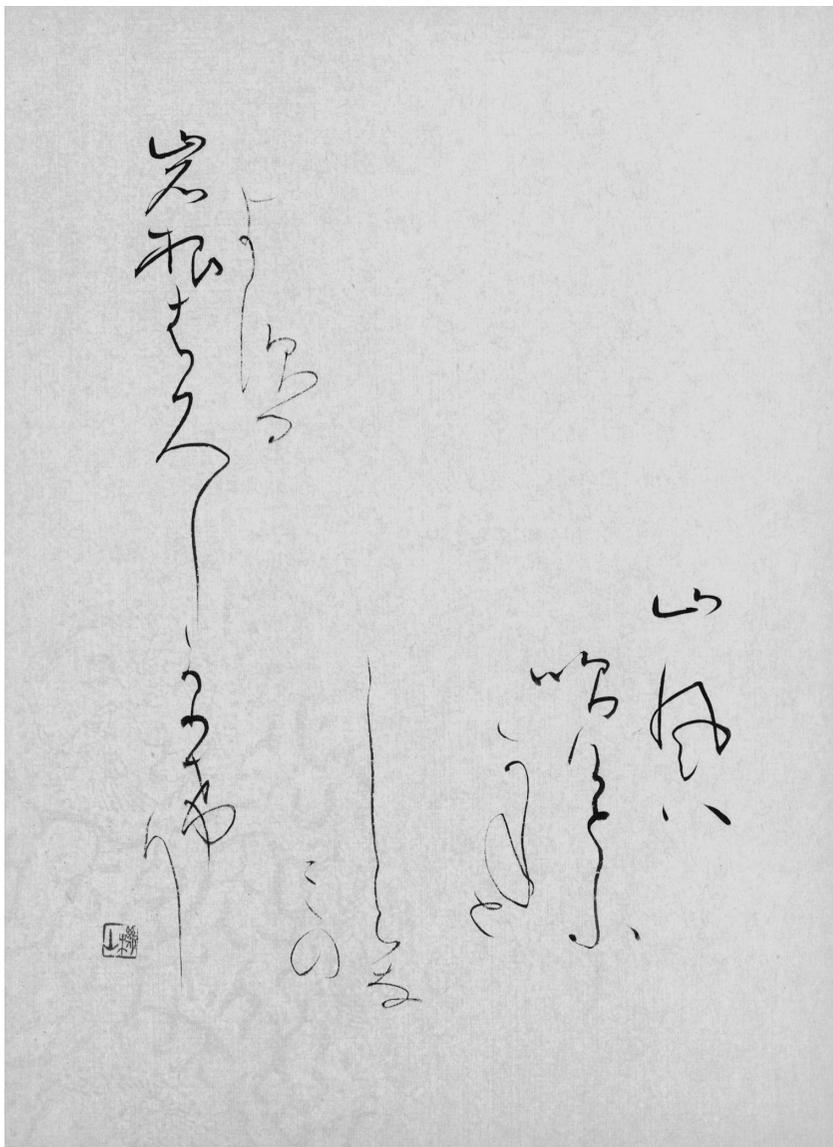


準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。
飛飛爾爾可可 流流九九毛毛 志志者者 能能 多多利利東東
日日ににかかゝゝるる雲雲ややしばしばしのしのわわたたりりどどり

〔出典〕 松尾芭蕉

〔句意〕 しばしの間、雲が太陽をさえぎったのかと思うほどに、一度に渡り鳥の一团が飛ぶさまをよんだもの。



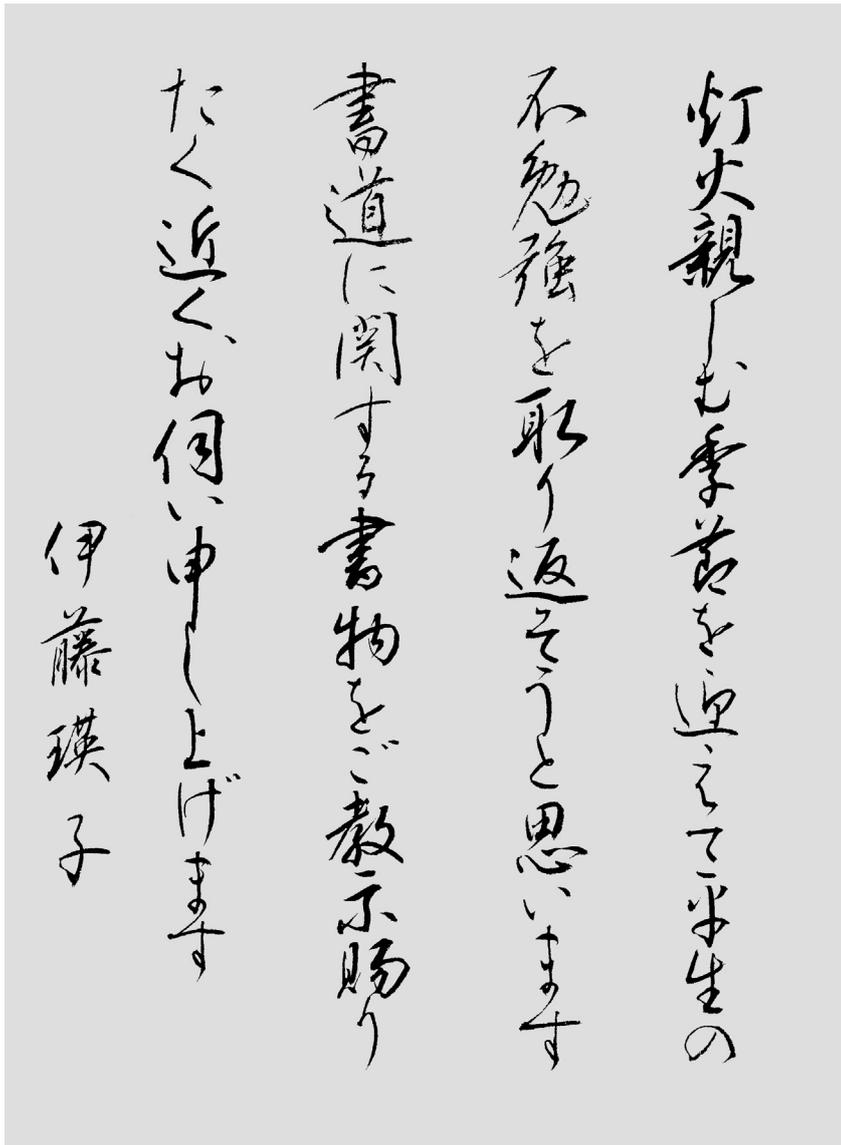
山山風風はは吹吹けけどど吹吹かかねねどど白白波波のの
寄寄すするる岩岩根根はは久久ししかかりりけけり

〔出典〕 伊勢

〔歌意〕 山風は、吹いても吹かなくても、変わりなく白波の寄せる、その岩は永久に変わらないことであるよ。

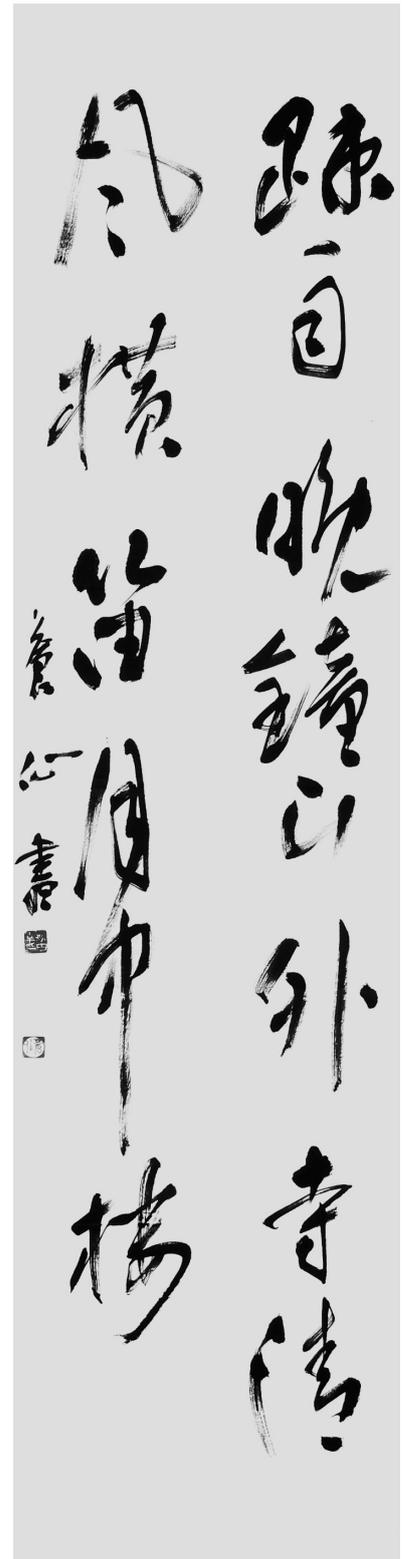
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 華 玲 田 樋



締切り 十月二十五日(必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

萩田蒼仙書

〔条幅解説〕添削依頼作品を拝見して思う事は、書道誌等を見て書かれる方と師についてちゃんと習われた方の作品の違いは「筆づかい」です。形は似ていますが、線が浮いて甘く弱いのです。「書く程上達する」の言葉には落とし穴があります。書く程、我流、癖が増幅することがあるからです。師の必要なのはここにありません。芸術院賞の劉蒼居先生は「私の本を見て書いてもダメ。私の筆づかいを見るよう」に言われました。書の上達にはこの事が一番の早道だと思ひます。

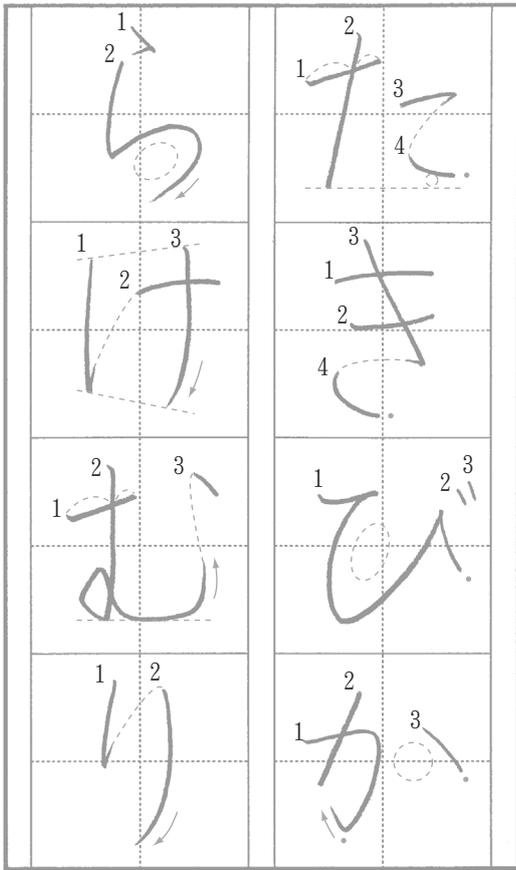
● 灯火親しく季節を迎えて平生の不勉強を取り返そうと思ひます
● 書道に関する書物をご教示賜りたく近くお伺い申し上げます
() (自分の氏名)

● 印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

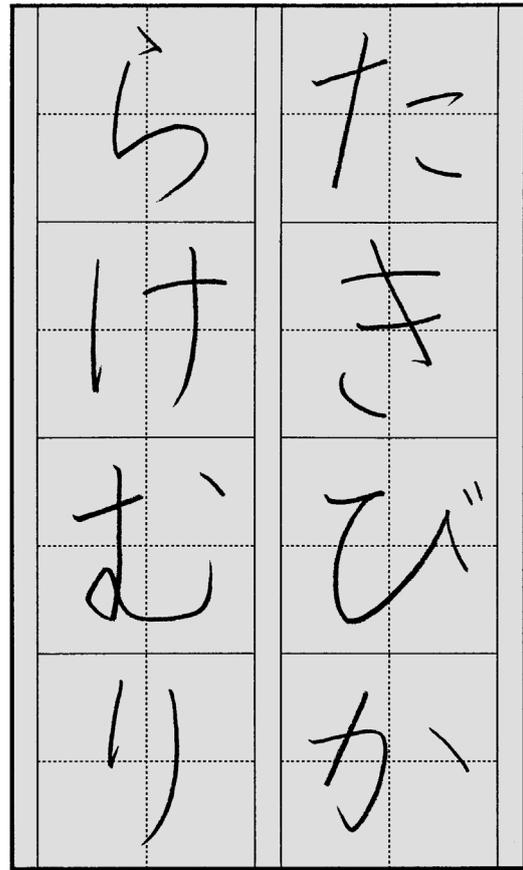
- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位5等)は、評価により毎月変わります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〈ようぐく〉自由(黒色にかざる)



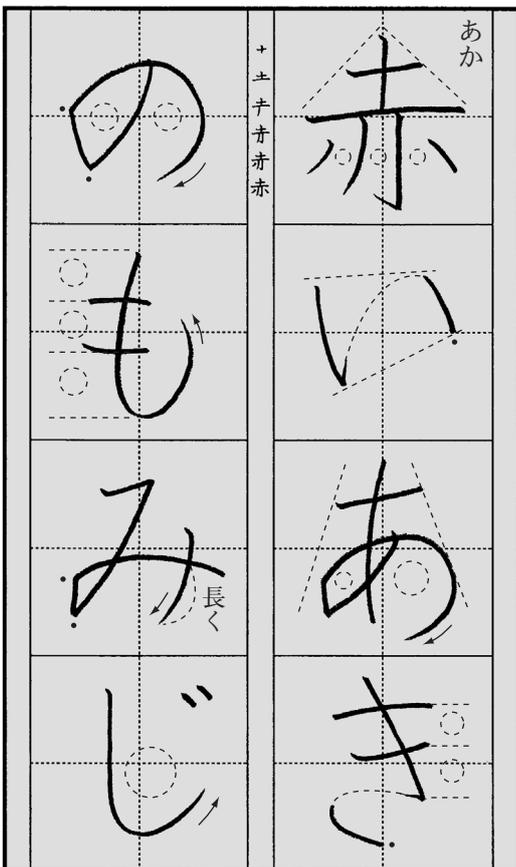
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年〜小三年
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐく自由〉(黒色にかざる)

くち 口	たの 楽
こと	し
と	い
ば	はや 早

新入〜1級

つ	こ	楽
た	と	し
本	ば	い
読	が	早
む	の	口

小二年

準初段以上

て 手	みずうみ 湖
い 入	で
はね れ	羽
を	の

新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

入	ち	湖
れ	が	で
を	羽	水
す	の	鳥
る	手	た

小三年

準初段以上

小四年

小	き	古
説	な	本
を	作	屋
買	家	で
う	の	好

準初段以上

小	シヨウ 一十古古	古	ふる
説	セツ 一十オ木本	本	ホン
買	か 戸屋屋屋屋	屋	や
う		で	とめ

新入1級

〈用具〉自由(黒色に限る)

小五年

機	い	利
を	の	用
増	で	者
や	改	が
す	札	多

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)

改	カイ 一ニオ利利	利	リ
札	サツ 一十オオ札	用	ヨウ
機	キ キキ機機機	者	シャ
増	ふ(やす) ムクタタ多	多	おお(い)

小四以上 須田一葉書

小六年

給	は	私
食	翌	た
当	週	ち
番	か	の
だ	ら	班

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

給	私	わたし
食	班	ハン
当	翌	ヨク
番	週	シユウ

キユウ 一ニ千手私私
シヨク 一トヲ羽班班
トウ コヨ 羽翌翌翌
バン 一月月周周週

〈ようじく〉自由(黒色に限る)

中一年 (行書)

理	を	取
し	詳	材
記	し	の
事	く	資
に	整	料

中二・三年 (行書)

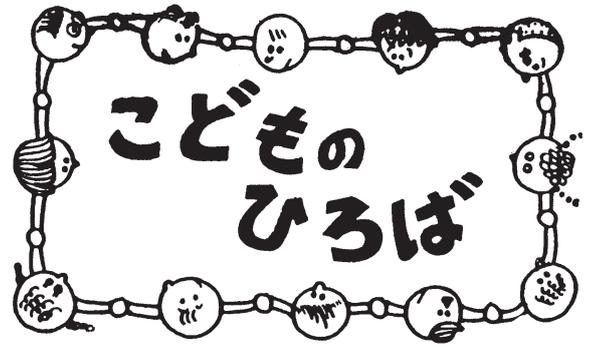
射	ト	暴
に	の	れ
大	予	る
苦	防	べ
戦	注	つ

◎お手本は、つけペンで書きました。

▼小三年以下の課題 にの みや たい こう 光 書

真 ^ま	冬 ^{ふゆ}	ア	そ	寒 ^{さむ}
っ	じ	リ	な	い
さ	た	さ	え	毎 ^{まい}
い	く	ん	て	日 ^{にち}
中 ^{ちゆう}	の	た		に
		ち		
		が		

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 10月25日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 くわ はら えい うん 桑 原 栄 雲 書

魚 ^{さかな}	神 ^{しん}	珍 ^{めづら}	冏 ^ず	深 ^{しん}
が	秘 ^ひ	し	鑑 ^{かん}	海 ^{かい}
あ	的 ^{てき}	い	に	魚 ^{ぎよ}
ふ	な	姿 ^{すがた}	は	の
れ	生 ^{せい}	で		
て	態 ^{たい}			
る	の			

◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。







小三、小五年

水野香竹書

中二
注予

小六
当給

射防

番食

小六、中二・三年

奥村暢之書

料

給

防

番

射

資

中
資取
料材